

## 第1回安曇野市環境審議会 会議概要

- |   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名       | 第1回安曇野市環境審議会  |
| 2 | 日時        | 令和4年4月22日(金)午後1時30分から午後3時30分まで  |
| 3 | 会場        | 安曇野市 穂高支所 大会議室  |
| 4 | 出席者       | 環境審議会 植松晃岳 会長、樋口嘉一 副会長、横田耕太郎 委員、<br>中林嘉世子 委員、塚田弘子 委員、中沢清一 委員、畑中健一郎 委員、<br>渡辺正幸 委員、今井隆一 委員、岡江正 委員、堀井勇司 委員、<br>降旗幸子 委員、原弥生 委員、平林昭敏 委員、磯野康子 委員 |
| 5 | 市側出席者     | 市民生活部 山田部長、環境課 山口課長、<br>環境政策担当 百瀬補佐、丸山係長、高山主事、古屋主事  |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開  |
| 7 | 傍聴人       | 0名  |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和4年5月6日  |

### 協 議 事 項 等

#### 【進行表】

1. 開会
2. 委嘱書交付
3. 市民生活部長あいさつ
4. 自己紹介
5. 事務局紹介
6. 会長及び副会長の選出  
【会長：植松 晃岳 委員、副会長：樋口 嘉一 委員 を選出】
7. 会長及び副会長あいさつ
8. 環境審議会の役割について
9. 報告事項
  - (1) 令和4年度環境課の当初予算概要について【資料1】
  - (2) 令和4年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について【資料2】
  - (3) 第2次安曇野市環境基本計画の改定及び安曇野市環境行動計画の策定について【資料3・資料4】
  - (4) その他
10. その他
11. 閉会

#### 【議事】

報告事項(1) 令和4年度環境課の当初予算概要について

<環境課から説明>

報告事項(2) 令和4年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について

<環境課から説明>

<質疑・意見>

(委員) 会議資料が複雑でわかりにくい。資料を整理して要点をまとめた資料作成に努めてほしい。

(会長) 報告事項(1)の環境課の当初予算概要は、これから行っていく事業に対してどれだけの予算が割り振られるかといった、決定事項でもある。可能であれば、次の環境審議会までに環境課の役割をまとめた資料を作成していただきたい。

報告事項(3) 第2次安曇野市環境基本計画の改定及び安曇野市環境行動計画の策定について

<環境課から説明>

<質疑・意見>

(委員) 報告事項の説明の際は、資料を読むだけでなく、委員にわかりやすいように、丁寧な説明をしてほしい。

(委員) 第2次安曇野市環境基本計画改定・安曇野市環境行動計画策定のスケジュールについて、今年度の環境審議会の開催は8回と記載がある。環境審議会第2回から第5回までの間に「基本計画改定素案の作成・内容協議」ということだが、第2回から第5回までの各環境審議会での具体的な審議内容はすでに決まっているのか。また、市民へのアンケート内容について、市の事業に対する評価についても組み入れたほうよい。

(環境課) 策定にあたり、コンサルタントにも関わっていただいている。次の環境審議会でも、各回の環境審議会でもどのような内容を審議していくかをお示しする。市の事業検証についても、年次報告書を踏まえて、今後報告していく。

(委員) 市民2,500人、事業者1,000社を対象にアンケート実施するとの記載があるが、対象者はランダムに選ばれるのか。

(環境課) 市民2,500人は無作為に抽出する。事業者1,000社については、商工会を介して、無作為に抽出する。前回のアンケート実施の際と、同様の対象者数である。環境への周知も含めて、対象者数を減らさずに実施する。

(委員) 世代を網羅するように抽出するのか。これからの安曇野市の環境計画をたてるものなので、若い世代の意見を多く聞きたい。

(環境課) 世代や性別を加味して無作為抽出をするため、偏るということはない。

(委員) アンケートの内容はどのようなものか。

(環境課) 前回の環境基本計画策定時のアンケート結果と、一定程度比較できる内容である必要があるため、一部の項目はそのまま残している。また「ゼロカーボン」、「SDGs」といった、新たな項目を設けてアンケートを実施する。

(委員) 5年、10年先のロードマップではなく、20年、30年、50年先の安曇野市版のロードマップを作成してほしい。環境問題は問題が訪れてからでは遅い。今から行動する必要がある。

(市民生活部長) 地球温暖化対策については、ゼロカーボン表明を予定している。1年程前は、安曇野市としてゼロカーボンに向けてのロードマップが描けていない状況であったため、表明を予定する段階ではなかった。表明するという意向に変わってきているのは、地球温暖化対策実行計画を環境基本計画見直しに盛り込んでいく、すなわち、安曇野市として2030年、2050年に向けたロードマップを描くつもりでゼロカーボン表明をしていくと捉えている。

(委員) 水や生き物、地球温暖化についても、安曇野市というエリアだけで考えていても進

まない。松本市や松川村といった、隣の市や村との連携は検討しているのか。

(環境課) 令和4年2月に、「松本平ゼロカーボン・コンソーシアム」が設立された。松本市と信州大学の連携協定に基づき設立されたもので、脱炭素社会の実現に向け、産官学が参加をしており、安曇野市も参加している。松本平ゼロカーボン・コンソーシアムでは、広域での地域新電力事業を検討している。取り組みについて、今後も環境審議会でも周知していく。

その他

<環境課から説明>

・安曇野市水環境基本計画、安曇野市水環境行動計画、あづみの水結（みずゆい）制度について

<質疑・意見>

(委員) 地下水涵養の効果は。

(環境課) 地下水を増やす効果がある。また、麦を刈った後に水を張ることで、ヤグルマソウなどの雑草の除草効果もある。

(委員) 会議次第について、報告事項と協議事項とを明確にし、整理していただきたい。

(午後3時30分 議事終了 閉会)

【今後の予定】

・6月3日 第2回環境審議会